

浦幌町立博物館だより

令和3(2021)年12月号

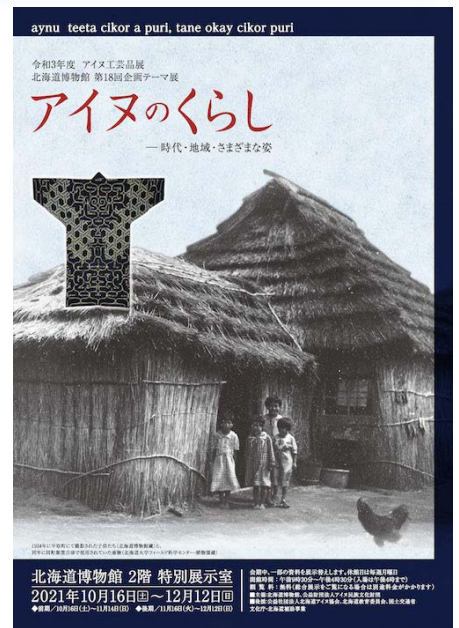
編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉urahoro.museum@gmail.com

ふたつのアイヌ展へ資料を貸出

■他の博物館への貸出

この「博物館だより」がお手元に届くころには、会期が終了を迎えてしまうと思いますが、この秋から冬にかけて、浦幌町立博物館の所蔵資料が、あいついで他の博物館の特別展へ貸し出されました。ひとつは白老町の「ウポポイ」にある国立アイヌ民族博物館。もうひとつは札幌市にある北海道博物館です。

いずれもアイヌ関係資料で、国立アイヌ民族博物館へは、十勝太若月遺跡で出土したガラス玉や管玉を、北海道博物館へは愛牛にお住まいだった長浜清三さんから寄贈されたシントコやイクパスイといった民具を貸し出し、それぞれの博物館で展示公開されました。



国立アイヌ民族博物館で開催された「ビーズ：アイヌモシリから世界へ」と、北海道博物館で開催された「アイヌの暮らし：時代・地域・さまざまな姿」のポスター。

■資料貸し出しの意義

日頃は当館の常設展示室で公開している資料を、わざわざ他の博物館へ貸し出して展示してもらうことには、大きな

意義があります。それは、特定のテーマに沿って各地から集められた資料と共に、専門の研究者によって展示されることで町内で展示していたころには気が付かなかった、新たな発見があることです。

もちろん、なかなか浦幌へ足を運べない方々に、当館の「宝」を見ていただく良い機会でもあります。資料に各地で活躍する機会を与えることも、学芸員の務めなのです。(浦幌町立博物館 学芸員 持田 誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

特急おおぞら新停車記念



国鉄が分割・民営化され、現在のJRになったのは、1987(昭和62)年4月1日です。その前日の3月31日、つまり、「国鉄最後の日」に購入した記念入場券です。

内容は、前年11月のダイヤ改正で浦幌へ停車するようになった特急列車を記念するものです。2羽のタンチョウをモチーフとする「おおぞら」号のヘッドマークを掲げた、当時の183系特急列車の横に、奇妙な2羽の鳥のイラストが。冠羽があるのでタンチョウでは無いと思いますが、まさかアオサギ?この鳥が何なのか?いまも不明です。(樺省造氏寄贈)

を掲げた、当時の183系特急列車の横に、奇妙な2羽の鳥のイラストが。冠羽があるのでタンチョウでは無いと思いますが、まさかアオサギ?この鳥が何なのか?いまも不明です。(樺省造氏寄贈)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

『正欲』

朝井リョウ(著) 新潮社(編)
2021年3月26日発行 四六判 382頁



近年はLGBTQなど、多様性が礼賛される時代になりつつあります。

ですが、その「多様性」を尊重する現代でLGBTQからも外れてしまう人がいる。安易に「理解しよう」、「多様性」と言いながら、人々を一つの方向に導こうとしているのではないかと。

それを認めるふりをして聞き流してきただけかもしれない。本当の事は当事者同士にしか分からない事だらけである。

本書を読んだ後は、本当に自分は「多様性」を理解しているのかと今一度、自問自答させられるに違いありません。

(浦幌町立図書館 司書 山崎菜摘)

【図書館での配架場所】
日本の小説
分類記号→913.6ア

12月の博物館お知らせ

企画展

冬の企画展 いろいろな看板展

12月11日(土) 10:00~18:00
▼
1月16日(日) 場所：博物館特別展示ホール
入場無料

常室簡易郵便局

収蔵資料のなかから、さまざまな「看板」をとりあげて展示します。表札としての看板、広告としての看板など、看板もいろいろ。こうした「看板」を歴史、風俗などさまざまな観点から眺めてみると、いろいろと楽しいことが見えてきます。



夜学講座

「看板」を観察する

12月15日(水) 19:00~20:00
場所：浦幌町立博物館
申込不要・無料
講師：持田誠 学芸員



いろいろな「看板」を観察してわかることについて解説します。

トピック展

クリスマスの文化

12月18日(土)
▼
12月30日(木)



プレゼピオ、リース、アドベントカレンダーなどクリスマスの文化について紹介します。収蔵資料のなかから、旧日本福音ルーテル池田教会資料の一部も展示します。

展示解説

1日展示解説

日時：12月30日(木)
10:00~18:00
場所：浦幌町立博物館
申込不要・無料



年末最後の開館日は、毎年博物館ロビーに学芸員が待機して、企画展や常設展の解説に対応します。

お正月の文化

1月8日(土)
▼
1月23日(日)



しめ飾りやおせち料理など、お正月に関する文化について紹介します。地域おこし協力隊の古賀詠風さんが少年時代にとりくんだ「おせち料理研究」の成果や「おせち作り動画」も公開。

入館料：無料

開館時間：10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員：1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

12月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8

休館日：月曜日・祝日の翌日
今月は12月30日の資料整理日も臨時開館します。



JR根本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約40分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広～浦幌間 1290円(片道)
釧路～浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ：電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)
E-mail: museum@urahoro.jp / urahoro.museum@gmail.com